伊勢物語

　　芥川

　昔、男ありけり。

女のえ得まじかりけるを、

年を経てよばひわたりけるを、

からうじて盗み出でて、いと暗きに

来けり。芥川といふ川を

率て行きければ、

草の上に置きたりける露を、

「かれは何ぞ。」となむ男に

問ひける。行く先多く、夜も

更けにければ、鬼ある所

とも知らで、神さへいといみじう

鳴り、雨もいたう降りければ、

あばらなる蔵に、女をば奥に

押し入れて、男、弓・胡簶を負ひて戸口

にをり。はや夜も明けなむ

と思ひつつゐたりける

に、鬼はや一口に食ひてけり。

「あなや。」と言ひけれど、神鳴る騒ぎ

にえ聞かざりけり。やうやう夜も

明けゆくに、見れば率て

来し女もなし。足ずりを

して泣けどもかひなし。

　　白玉か何ぞと人の

　　問ひし時露と答へて

　　消えなましものを

　これは、二条の后の、いとこの女御の御もとに、

仕うまつるやうにてゐ給へ

りけるを、かたちのいとめでたく

おはしければ、盗みて

負ひて出でたりけるを、

御兄堀河の大臣、太郎国経の大納言、まだ下臈にて内裏へ

参り給ふに、いみじう泣く人

あるを聞きつけて、とどめて

とり返し給うてけり。それを

かく鬼とは言ふなりけり。

　まだいと若うて后のただに

おはしける時とや。　　　　　　　　　　　　　　　（第六段）

伊勢物語

　　芥川

　　　　　　動（ラ変・連用）　助動（過去・終止）

　昔、　男　あり　　　　　　　けり。

　　格助（同格）　副　動（ア下二・終止）　助動（打消推量・連用）　助動（過去・連体）　格助（対象）

女　の　　　　　　え　得　　　　　　　　　まじかり　　　　　　　　ける　　　　　　　　を、

　　格助（時間）　動（ハ下二・連用）　接助（単接）　動（ラ四・連用）　助動（過去・連体）　接助（単接）

年　を　　　　　　経　　　　　　　　　て　　　　　　よばひわたり　　　ける　　　　　　　　を、

副　　　　　　動（ダ下二・連用）　接助（単接）　副　　形（ク・連体）　格助（時間）

からうじて　　盗み出で　　　　　　て、　　　　　いと　暗き　　　　　　に

動（カ変・連用）　助動（過去・終止）　　　　格助（引用）　動（ハ四・連体）　　格助（場所）

来　　　　　　　　けり。　　　　　　　芥川　と　　　　　　いふ　　　　　　川　を

動（ワ上一・連用）　接助（単接）　動（カ四・連用）　助動（過去・已然）　接助（順接確定）

率　　　　　　　　　て　　　　　　行き　　　　　　　けれ　　　　　　　　ば、

　　格助（体修）　　　格助（場所）　動（カ四・連用）　助動（存続・連用）　助動（過去・連体）　　　格助（対象）

草　の　　　　　　上　に　　　　　　置き　　　　　　　たり　　　　　　　　ける　　　　　　　　露　を、

　代名　係助（区別）　代名　係助（強意）　格助（引用）　係助（強意）・［係］　　　　格助（対象）

「かれ　は　　　　　　何　　ぞ。」　　　　と　　　　　　なむ　　　　　　　　　男　に

動（ハ四・連用）　助動（過去・連体）・［結］　　　　　　形（ク・連用）　　　係助（添加）

問ひ　　　　　　　ける。　　　　　　　　　　　行く先　多く、　　　　　夜　も

動（カ下二・連用）　助動（完了・連用）　助動（過去・已然）　接助（順接確定）　　　動（ラ変・連体）

更け　　　　　　　　に　　　　　　　　　けれ　　　　　　　　ば、　　　　　　　鬼　ある　　　　　　　所

格助（引用）　係助（強意）　動（ラ四・未然）　接助（打消）　　　副助（添加）　副　　形（シク・連用・ウ音便）

と　　　　　　も　　　　　　知ら　　　　　　　で、　　　　　神　さへ　　　　　いと　いみじう

動（ラ四・連用）　　係助（添加）　形（ク・連用・ウ音便）　動（ラ四・連用）　助動（過去・已然）　接助（順接確定）

鳴り、　　　　　雨　も　　　　　　いたう　　　　　　　　　降り　　　　　　　けれ　　　　　　　　ば、

形動（ナリ・連体）　　　格助（場所）　　　格助（対象）　係助（強意）　　　格助（場所）

あばらなる　　　　　蔵　に、　　　　　女　を　　　　　　ば　　　　　　奥　に

動（ラ下二・連用）　接助（単接）　　　　　　　　　格助（対象）　動（ハ四・連用）　接助（単接）

押し入れ　　　　　　て、　　　　　男、　弓・胡簶　を　　　　　　負ひ　　　　　　　て　　　　　　戸口

格助（場所）　動（ラ変・終止）　副　　　　　係助（強意）　動（カ下二・未然）　終助（他に対する願望）

に　　　　　　をり。　　　　　　はや　夜　　も　　　　　　明け　　　　　　　　なむ

格助（引用）　　動（ハ四・連用）　接助（並列）　動（ワ上一・連用）　助動（存続・連用）　助動（過去・連体）

と　　　　　　　思ひ　　　　　　　つつ　　　　　ゐ　　　　　　　　　たり　　　　　　　　ける

接助（順接確定）　　　副　　　　　格助（手段）　動（ハ四・連用）　助動（完了・連用）　助動（過去・終止）

に、　　　　　　　鬼　はや　一口　に　　　　　　食ひ　　　　　　　て　　　　　　　　　けり。

　感動　　　格助（引用）　動（ハ四・連用）　助動（過去・已然）　接助（逆接確定）　　　動（ラ四・連体）

「あなや。」と　　　　　　言ひ　　　　　　　けれ　　　　　　　　ど、　　　　　　　神　鳴る　　　　　　　騒ぎ

格助（原因）　副　動（カ四・未然）　助動（打消・連用）　助動（過去・終止）　副　　　　　　係助（強意）

に　　　　　　え　聞か　　　　　　　ざり　　　　　　　　けり。　　　　　　　やうやう　夜　も

動（カ四・連体）　接助（順接確定）　動（マ上一・已然）　接助（順接確定）　動（ワ上一・連用）　接助（単接）

明けゆく　　　　　に、　　　　　　　見れ　　　　　　　　ば　　　　　　　　率　　　　　　　　　て

動（カ変・未然）　助動（過去・連体）　　　係助（強意）　形（ク・終止）　　　　　格助（対象）

来　　　　　　　　し　　　　　　　　　女　も　　　　　　なし。　　　　　足ずり　を

動（サ変・連用）　接助（単接）　動（カ四・已然）　接助（逆接確定）　形（ク・終止）

し　　　　　　　　て　　　　　　泣け　　　　　　　ども　　　　　　　かひなし。

　　　　　係助（疑問）　代名　係助（強意）　格助（引用）　　格助（主格）

　　白玉　か　　　　　　何　　ぞ　　　　　　と　　　　　人　の

　　動（ハ四・連用）　助動（過去・連体）　　　　格助（引用）　動（ハ下二・連用）　接助（単接）

　　問ひ　　　　　　　し　　　　　　　　時　露　と　　　　　　答へ　　　　　　　　て

　　動（ヤ下二・連用）　助動（強意・未然）　助動（反実仮想・連体）　終助（詠嘆）

　　消え　　　　　　　　な　　　　　　　　　まし　　　　　　　　　　ものを

　代名　係助（区別）　　　　　格助（主格）　　　　格助（体修）　　　格助（体修）　　　　格助（場所）

　これ　は、　　　　二条の后　の、　　　　いとこ　の　　　　　女御　の　　　　　御もと　に、

動（謙譲・ラ四・連体）　助動（比況・連用）　接助（単接）　動（ワ上一・連用）　補動（尊敬・ハ四・已然）

仕うまつる　　　　　　　やうに　　　　　　　て　　　　　　ゐ　　　　　　　　　給へ

語り手→いとこの女御　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 語り手→二条の后

助動（存続・連用）　助動（過去・連体）　接助（単接）　　　　格助（主格）　副　　形（ク・連用）

り　　　　　　　　　ける　　　　　　　　を、　　　　かたち　の　　　　　　いと　めでたく

動（尊敬・サ変・連用）　助動（過去・已然）　接助（順接確定）　動（マ四・連用）　接助（単接）

おはし　　　　　　　　　けれ　　　　　　　　ば、　　　　　　　盗み　　　　　　　て

語り手→二条の后

動（ハ四・連用）　接助（単接）　動（ダ下二・連用）　助動（完了・連用）　助動（過去・連体）　接助（逆接確定）

負ひ　　　　　　　て　　　　　　出で　　　　　　　　たり　　　　　　　　ける　　　　　　　　を、

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　副　　　　　助動（断定・連用）　接助（単接）　　　　格助（方向）

御兄　堀河の大臣、　太郎国経の大納言、　まだ　下臈　に　　　　　　　　　て　　　　　　内裏　へ

動（謙譲・ラ四・連用）　補動（尊敬・ハ四・連体）　　　格助（時間）　形（シク・連用・ウ音便）　動（カ四・連体）

参り　　　　　　　　　　給ふ　　　　　　　　　　　　　に、　　　　　いみじう　　　　　　　　　泣く　　　　　　人

語り手→〈天皇〉　　　　　 語り手→堀河の大臣・太郎国経の大納言

動（ラ変・連体）　格助（対象）　動（カ下二・連用）　接助（単接）　動（マ下二・連用）　接助（単接）

ある　　　　　　　を　　　　　　聞きつけ　　　　　　て、　　　　　とどめ　　　　　　　て

動（サ四・連用）　補動（尊敬・ハ四・連用・ウ音便）　助動（完了・連用）　助動（過去・終止）　代名　格助（対象）

とり返し　　　　　給う　　　　　　　　　　　　　　　て　　　　　　　　　けり。　　　　　　　それ　を

　　　　　　　　　語り手→堀河の大臣・太郎国経の大納言

副　　　　格助（引用）　係助（強意）　動（ハ四・連体）　助動（断定・連用）　助動（過去・終止）

かく　鬼　と　　　　　　は　　　　　　言ふ　　　　　　　なり　　　　　　　　けり。

副　　副　　形（ク・連用・ウ音便）　接助（単接）　　　格助（主格）　　　　　助動（断定・連用）

まだ　いと　若う　　　　　　　　　　て　　　　　　后　の　　　　　　ただ　　に

補動（尊敬・サ変・連用）　助動（過去・連体）　　　格助（引用）　係助（疑問）・［係・結略］

おはし　　　　　　　　　　ける　　　　　　　　時　と　　　　　　や。　　　　　　　　　　　　　　　　　（第六段）

語り手→二条の后